

会 議 録

会議の名称	令和 8 年度第 1 回飯塚市図書館運営協議会
開催日時	令和 8 年 7 月 30 日(木) 10 時 00 分～11 時 45 分
開催場所	イイツカコミュニティセンター3 階 セミナー室
出席委員	後藤委員、堀田委員、和多委員、小池委員、山田委員、森山委員、綿引委員、高田委員、山崎委員 以上 9 名
欠席委員	秦委員
事務局職員	松村生涯学習課長、井尻生涯学習課長補佐、松尾中央公民館・図書館係長
指定管理者	瓜生統括チーフ、中谷チーフ
発言者	発言内容
事務局	1 開会のことば 会議成立報告・資料確認
事務局	2 任命書交付・委員紹介
事務局	3 教育委員会あいさつ
	4 議事 (議案第 1 号) 会長及び副会長の互選 会長については、委員からの推薦により後藤委員に、副会長については、立候補がなかったため、事務局より森山委員の選任を提案。異議なし。 後藤委員、森山委員より挨拶をいただく。 ～以下、進行は後藤会長～ (議案第 2 号) 令和 8 年度図書館事業計画について 令和 8 年度の図書館事業計画（事業名・主な内容・開催時期・期間・回数等）について、前年度から内容が変更になる事業を中心に、抜粋して説明
委員	図書館を使った調べる学習コンクールについて、一般という記載があるが一般も今年から始まったのか。
事務局	一般の受付を始めたのは昨年度から。昨年度は応募がなかったため今年度は公募に力を入れたと考えている。

委員	子育て支援センターとの協働事業について、開催場所の欄に子育て支援センターと記載があるが、こちらは穂波交流センターのことと認識してよいか。
事務局	問題ない。穂波交流センター館内に穂波子育て支援センターという施設がある。
委員	同事業について、開催場所の欄に庄内図書館が二つあるのはなぜか。
事務局	期間・時期の欄に記載の番号と連動しているもの。
委員	ブックスタートについて、以前は子どもの集団検診の際に、絵本を読み聞かせして渡していたが、新型コロナウイルスの蔓延により、新生児訪問時等の配布に移行したと聞いている。そちらは今後も変更はないか。
事務局	4 カ月検診の際に配布することになっている。検診時に配布ができなかった子どもについては、訪問時に手渡し予定である。 (議案第 3 号) 図書館資料選定委員の決定について 飯塚の図書館、全 5 館分(飯塚・ちくほ・庄内・穂波・穎田)の図書館資料等の購入及び蔵書選定に関することを図書館資料選定委員会にて協議を行っている。図書館資料選定委員のうち 2 名が図書館運営協議会から選出されているが、令和 8 年 6 月末で現委員の任期が満了となるため、この場で 2 名の選出をいただきたい。 立候補者の確認 【決定事項】 和多委員、高田委員が立候補。その他委員の承認を受け決定 (報告第 1 号) 令和 7 年度、令和 8 年度飯塚市立図書館利用状況・業務報告 資料に基づき、令和 7 年度、令和 8 年度 6 月までの 5 館の貸出人数・冊数を中心とした利用状況報告。オープニングイベント・おはなし会・図書館まつり等の要旨説明。
委員	オープニングイベントについて、参加した幼稚園生からとても面白かったという感想を聞いたので報告しておく。
委員	来館者数を報告されていたが、どのようにして調べているのか。

事務局	来館者のカウントは計測機器を活用している。入り口付近（自動ドア付近）に通過人数を自動でカウントする機器を設置しており、利用者がその前を通るたびにカウントされる仕組みである。
委員	出入り時に 2 回通ることになると思うが、それは 2 回としてカウントされるため正確な数値が出ないのではないか。
事務局	そのような状態を防ぐため、正確な数値を割り出す計算時に、「2 で割る」などの補正・調整を行っている。（飯塚館は顔認証機能搭載のため、本調整は不要）
委員	昨年度、大規模改修工事に伴い、貸出期間を大幅に延長されていたと思うが、その本がきちんと戻ってきているのか気になっている。
事務局	ほとんどの方に返却いただいているが、未返却の方への督促については、例年より増加している状況。
委員	来館者数について、この数値が多いのか少ないのか判断がつきにくい。例えば、近隣市町村や人口規模が近い自治体のデータなど、比較対象となる情報もあわせていただけると意見が出しやすい。
事務局	本日はデータの持ち合わせがないところではあるが、同じような人口規模の市町村データ等の次回配布について検討を行う。
委員	ブックスタートフォローアップ事業について、こちらは図書館スタッフ、子育て支援センター職員、図書館ボランティアが合同で実施されているという認識でよいのか。
事務局	今年から子育て支援センターの運営事業者が変更となったこともあり、前年度までは、図書館スタッフ、図書館ボランティア、子育て支援センター職員で行っていたが、今年度からは、図書館スタッフと子育て支援センター職員とで実施予定である。
委員	図書館ボランティアの協力を得ない理由は何かあるのか。
事務局	子育て支援センター側からそのような依頼があったため。
委員	できるだけ多くの方に携わっていただくことで、子どもたちもより楽しめると思うため、読書ボランティアの方を取り入れた事業を検討していただきたい。

委員	子育てに関する会議にも参加する機会があるため、そこで今回の話題に上がった「図書館ボランティアと協力した事業の実施」について要望を行いたい。 (報告第2号) 飯塚市子ども読書活動推進計画策定委員の決定について 平成22年10月の策定以降、3期にわたり子どもの読書活動を推進しており、現在は「第三次計画（令和4～8年度）」を推進中である。なお、本年度中の第4次計画策定に向け、図書館運営協議会会長への相談のもと、前計画に携わっていただいた高田委員に委員就任を依頼させていただいた。また、7月27日の教育委員会定例会においても委員からの承認を得たところである。
事務局	意見なし 5 その他 - 生涯学習体系について 本市の社会教育や図書館事業は、「ひとづくり」や「いつでも学べる環境づくり」を掲げる市の方針（教育施策の大綱など）をベースに、読書活動の推進に取り組んでいる。会議終了後にでもお目通しいただきたい。 - 第4次子ども読書活動推進計画の策定について 本年度は第3次計画の最終年度であり、第4次計画を策定する年である。8月末の第1回選定委員会からスタートし、計5回の委員会を経て、令和9年3月の計画策定完了を目指す。
委員	颯田館に、利用者に勧めたい本が2冊程度あるが、颯田館は他館に比べて来館者が少ない傾向にあり、貯蔵図書が市民の手に届きにくい現状がある。そのため、より多くの来館者が訪れる飯塚館等へ所管替えを行い、多くの市民の目に触れる機会を確保するような運用があるとよいのではないかと思います。今後の運用について検討をお願いしたい。
事務局	図書館スタッフと確認しながら他館や県への移管も含めて検討していく。
委員	現在、飯塚市総合計画審議会という会議が実施されていると思うが、図書館については、この会議の中で何か話されているのか。
事務局	飯塚市では、現在、「飯塚市第三次総合計画」を作成中である。こ

	の計画には、各部署の具体的な施策が盛り込まれており、教育文化の分野においては、社会教育の発展を目指す指標の一つとして、図書館の利用状況に関する目標を計画に掲げている。 現在は計画の案に対する意見を聴取している段階であり、正式決定時期は未定である。対象期間は令和9年度からの10年間であり、10年後の目標達成に向けて取り組んでいるところであると御理解いただきたい。
委員	飯塚男女共同参画推進ネットワーク推進委員立場という立場でもあるため要望させていただくが、6月の男女共同参画週間などに合わせて、関連する本の特集を組んでほしい。また、ジェンダー平等などの関連本が他館より少ないという声をよく聞くため、飯塚市立図書館でも蔵書を増やし、読みたいときにすぐ読める環境を整えてほしい。
事務局	図書館から各課へ企画や展示の要望調査を実施しており、上がってきたものは特設コーナー等で展開している。今回の男女共同参画に関する要望についても、改めて担当課へ特集依頼ができることについて伝えていきたい。
委員	先ほど報告事項にあった、飯塚市子ども読書活動推進計画の策定について、今回委員に選んでいただいたが、私は第一次から関わらせていただいている。そこで皆さんに聞きたいが、配布している第三次計画の冊子を見たことがある方はどのくらいいるか。 数名反応
委員	推進計画やその進捗が、学校（小・中）や園（保・幼）の現場に十分知られていないのではないかとというのが気になっている。 また、ブックスタートについて、かつてはボランティアが4か月健診等で直接絵本を配り、他県からも見学に来るほど充実していたが、現在はボランティアが関わらなくなり、利用者の様子が見えづらくなったことを非常に残念に感じている。 綿引委員も、本計画の策定委員になられているため、気になることや意見があれば私共までお願いしたい。
委員	昨年度、桂川町の推進計画策定に関わった際、通常の冊子に加えて、主要な事業や取り組みを1枚の紙（概要版）にまとめて配布している事例があった。また、県などの計画を見ても、小中学生向けなどの主な取り組みを1枚ものにまとめて工夫している自治体が見

	受けられる。 今回の計画改定にあたっては、従来の冊子だけでなく、内容をコンパクトにまとめた 1 枚ものの資料を入口として作成できれば、より広く周知しやすくなると思う。
委員	イイヅカコミュニティセンター大規模改修後に、「おはなしのへや」がリニューアルされたと思うが、あちらの設計や本の配置などはどなたが決められたのか。
事務局	設計やコンセプトについては、主に生涯学習課が中心となってプランをまとめた。プランの策定にあたっては、指定管理者である TRC や、これまでの利用者の意見を聞きながら方向性を固め、その案をもとに設計業者や本市建築課と協議を重ねながら、広さや色などの細かい詳細を決めていった。
委員	利用者アンケートなどはとったのか。
事務局	アンケートはとっていない。日ごろからいただく要望や、このような会議の場での意見等を参考にした。
委員	「おはなしのへや」の内装やトイレの個数や面積など、もう少し利用者目線で検討していただきたかったという気持ちもある。
事務局	十分に満足のいく施設にならなかった点あると思うが、予算の制約がある中で、最低限やれる部分として現在の設計に至った。 根本的な改修や構造上の変更は難しいものの、今年度のリニューアル後に寄せられた「読み聞かせの部屋が殺風景」といった意見を受け、現在はテーブルやクッションを追加するなど、対応できる範囲で改善を行っている。今後も意見を聞きながら、対応可能な範囲で工夫していきたい。
委員	おはなしコーナーの利用状況はどうか。
事務局	多くの方に利用されている。
委員	初めて委員として参加し、皆様の活発で幅広い意見に大いに感銘を受けた。全国的に図書館運営の厳しさが報じられる中、保育現場の視点として、飯塚市の就学前児童数は過去 5 年で大幅に減少している。この少子化は、ブックスタート等の乳幼児関連事業にも大きく関わってくる問題であると考えている。

	また、ブックスタートの名称や活動は知っていたものの、保育現場の関係者として、詳しい内容まで把握できていなかった点は反省すべき点だと感じた。今回の推進計画の委員名簿には、普段から関わりのある保育課長や子ども家庭課長の名前も挙がっており、市担当課とも連携しながら、保育協会や幼稚園から移行したこども園なども含めて、関係団体同士の「横のつながり」を今後は少しずつ作っていく必要があると感じている。 まだ要領を得ない部分もあるが、今後も皆様と話し合いを深めながら活動していきたい。 閉会 11:45
会議資料	事前配布資料 ・ 会議次第 ・ 飯塚市図書館運営協議会委員名簿 ・ 令和8年度 図書館事業計画 ・ 令和7年度、令和8年度飯塚市立図書館利用状況・業務報告 ・ 図書館法（抜粋） ・ 飯塚市立図書館条例（抜粋） 当日配布資料 ・ 飯塚市の生涯学習体系 令和8年度版 ・ 飯塚市の生涯学習体系 令和8年度版 ライフステージ別事業 ・ 第3次飯塚市子ども読書活動推進計画 ・ 飯塚市子ども読書活動推進計画策定委員会名簿
公開・非公開の別	1 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者 0人)
その他 (非公開理由等)	